

## 4つの森林活動

みなさまの参加を  
お待ちしております



**小手澤の森**  
第1・3日曜日



**知足の森**  
第1・3日曜日



**相模湖・嵐山の森**  
小原本陣の森  
不定期活動

# News Letter

## NPO法人緑のダム北相模

[midorinodam.jp](http://midorinodam.jp)



**No.627-628**

小学6年生向け体験会を  
実施しました

### 【定例活動報告】

過去・現在・未来に

緑のダムの皆様方には、貝沢から嵐山、小原と長きにわたり、森林活動～森林の役割と森林が人類に対しての貢献等を基盤とした～に携わっていただいておりますことに、感謝の気持ちいっぱいです。心よりお礼申し上げます。

私は、緑のダム北相模の元代表 石村様をはじめ故川田様、そして現在もご活躍されております大勢の方々や、以前活動されておられました麻布大学の部活動～フォレストノバ～の方々とは、10数年来のお付き合いをさせていただきます。過去5～6年間の期間だったでしょうか、皆様方に

緑のダム北相模は相模原  
市内で活動する森林ボラ  
ンティアです。急がず、無  
理せず、楽しく、休ま  
ず、ボチボチと・・・



は、小原での活動が終了された後、茶話会と言う形で、月1回程度拙宅にお立ち寄りいただいたことがありました。酒を酌み交わしながら、小原のことは勿論のこと、日本の森林や様々なことを“さかな”にして楽しいひと時を過ごさせてもらったことは、今になってみますと懐かしい思い出です。又現在、組織の代表者には小原宿活性化推進会議やその分科会に所属していただき大変お世話になっています。これからも小原におきまして、皆様方の活動が末永く続かれ、地域の方々との触れ合いがより深まっていきますよう念じています。

小林 幸治（小原宿活性化推進会議 会長）

## 【定例活動報告】 知足の森

今月の第1日曜日の活動には小学生も交え、午前中は間伐作業、午後は竹林の整備と薪割りを行いました。道具の使い方や受け口・切り口などの切り方の説明は、基本的に後輩たちに任せていたのですが、一つ一つを優しく丁寧に伝えていて、とても頼もしいなと感じました。私自身久しぶりの間伐作業だったので、うる覚えなところもあり、改めて手順を確認する良い機会になりました。

竹林の整備は以前から何度も行っていますが、毎回、以前見た時と同じ密度で竹が生えており、その成長速度に驚きます。竹を倒すのは比較的すぐできるのですが、枝が多く枝払いが大変なので、2人で分担しながら進めました。この作業がきっかけで話したことのなかった後輩とコミュニケーションをとることができ、森での活動は様々な良い機会を与えてくれるな、と再度実感しました。これから私は高校生となり、より後輩が増えていくと思うので、頼れる先輩となれるよう、引き続き精進していきたいです。

鈴木 友結（GTE LAB 中学3年女子）

第3日曜日は朝から雪が降っていて、森での作業ができなさそうだったので午前中は室内でのミーティングでした。このミーティングでは、森を『つくる』『つなぐ』『いかす』という三つの視点から、普段活動している森のことについて意見を出し合いました。森の役割は何か？森を次世代伝えていくにはどうすればいいか？などと参加者全員で考えを付箋に書き出して、共有しました。現在森に関わる人が減っているため、少しでも森に興味を持ってもらえるようにイベントなどを積極的にやり発信していきたいなと私は思いました。

午後には小原の郷で、一年生が製作したティッシュボックスと、二年男子がつくった木のキーホルダー、そして自分たちで作ったスマホスタンドキットの販売をしました。午後になっても天気は悪く、あまり人が集まらない時間帯も多かったです。ですが、商品の魅力を積極的に伝えることで、購入をしてくれたり、実際に購入してくれたり、うれしかったです。結果としてはスマホスタンドキットは2個ほどしか売れませんでした、実際に販売して人を呼ぶという体験は普段はできないため、いい経験になったと思います。

宮澤 真結（GTE LAB 中学2年女子）





## 桜井尚武の 森のコラム

### 「スギ(*Cryptomeria japonica*) その3 大きくなるスギ」



図1 杉の大杉 1980年頃 杉町高知県



図2 周りの壮齢木よりひとときわ高い杉の大杉 1980年頃 杉町高知県

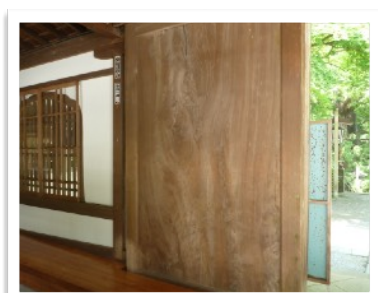


図3 大雄山最乗寺にある杉戸

20120608 大雄山最乗寺神奈川県

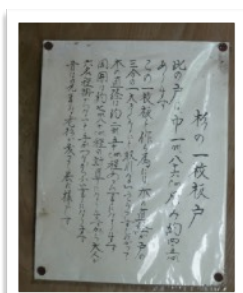


図4 大雄山最乗寺の杉一枚板戸の説明文

20090522 大雄山最乗寺神奈川県

サクラの花が大方終わって八重ザクラが各地で愛でられるようになると花粉症の猛威も終息してきます。でも、スギは終わっても、ヒノキの花粉が最近花粉症を起こすものとして問題視されています。前回示した戦後の植林増進の時代にヒノキも随分沢山植えられました。ヒノキの話はまた別の機会にします。

スギは日本では樹高が60mを越えて一番背が高い植物と記録されています。直径も4~5m以上にもなります。一番樹高の高いスギは京都市の国有林にある花脊（はなせ）の三本杉と呼ばれるものの一つで62.3mあると2017年に報告されました。太いのは屋久島の縄文杉で幹回りが16mとされています。高知県長岡郡大豊町に杉の大杉という1952年に国の天然記念物とされたという碑のある大きなスギの木があり、樹高60m幹周囲15mとされています（図1）。当時はおそらく日本一の大きさのスギと認識されていたのでしょうか。このスギには、美空ひばりと名乗る前の加藤和枝さんが巡業中のバス事故に遭い九死に一生を得た時に「日本一の歌手にして下さい」と祈願して後日美空ひばりとして願いを叶えてから再度お参りをした故事をたたえて、今でも杉地域の人たちはひばりの歌を流して観光客にその出来事を紹介しているので有名です。図2はこのスギを遠隔から撮った写真で、周囲にある壮齢木より抜きんでてひとときわ高い姿が見られます（この写真は40年ほど前に私が高知にいた頃撮ったもので、現状は知りません）。

大きなスギの話をもう一つ紹介します。小田原からの大雄山線の終点から行く大雄山最乗寺は600年を越える古刹です。この古刹の山林は主にスギ林ですが、寺院の改築などに適宜伐採されてきたものの今でも樹齢500年に達する古木を含めてその現存量は2,600m<sup>3</sup>/ha以上と高い林分のあることが神奈川県の研究機関の調査で分かっています。この林分材積現存量は日本では最も大きい値の一つと私は思います。この寺の板戸に大きな一枚のスギ板で作られた木戸が数枚展示物扱いもせぬ普通の造作としてあるのが見られます（図3）。寺が付けた説明文によると板戸の一枚板の幅は1m86cm厚み4.5cmあり、これを採るための元の木は2m50cmの太さがあった筈、だそうです（図4）。

桜井 尚武（本会、会員）

## 【活動報告】 こがねい環境フォーラムに出展しました

今年こがねい環境フォーラムに出展しました。恒例の積み木スペースに加え、これまで作ってきた森の縁日セットや新規に製作した森の運び屋ゲームを持ち込み、多くの小学生を中心とした参加者に楽しみながら森のことを学んでもらいました。参加した生徒の感想を紹介します。

僕は「森の運び屋ゲーム」を担当しました。課題点は説明が十分に出来なかったことや、電池を持ってき忘れたことや、軽トラのタイヤが歪んで思うように進まなかった事です。また、良かった点は、上手く進めない子にアドバイス出来たことや、参加者の皆さんが夢中になって楽しんでくれた事です。これからは、物忘れをしないように気を配り、説明も工夫して行いたいと思います。

また井の頭自然文化園に丸太を搬入し活用していただいているので状況確認兼記念撮影も行ってきました（右写真）。



### 参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴 成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

### 危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランティア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

## NPO法人

### 緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人 緑のダム北相模

現地事務局：〒252-0172 相模原市緑区与瀬本町12 かどや食堂内

支援団体：セブン-イレブン記念財団

積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構  
パタゴニア

協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、

東京学芸大学環境教育研究センター、

(社) 東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、

(社) さがみ湖 森・モノづくり研究所



緑の募金



一般財団法人  
セブン-イレブン  
記念財団



SEKISUI HOUSE  
MATCHING PROGRAM

